

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-01	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	文化振興事務費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井			
		担当者名	高田	内線	2521			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-02	事務費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 30年度 <input type="checkbox"/> 29年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	62年度	根拠	西日暮里ギャラリー運営要綱				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等	荒川区芸術文化事業共催要綱				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	区民が芸術文化に触れる機会の拡充を図るとともに、地域の文化資源の発掘と積極的な情報発信を進める。							
対象者等	区民及び区外からの訪問者							
内容	①芸術文化振興プラン：プランに掲げた事項について着実に推進するとともに、平成31年4月の改定に向け、平成30年度は、次期プランの検討・策定を行う。 ②ディスカバーあらかわ：一般公募した区内の風景・風物をテーマとした作品を展示 荒川区長賞(1点)、荒川区長奨励賞(3点)、太平洋美術会会長賞(2点)、荒川区美術連盟理事長賞(2点) ③西日暮里ギャラリー：西日暮里駅高架下の展示スペースを希望者に貸出（6か所、最長2週間） ④太平洋展：太平洋美術会が主催する太平洋展で優秀な作品2点に区長賞を授与 ⑤公共施設サイン：サインの清掃・修繕 ⑥JOBANアートライン協議会：常磐線沿線地域の活性化を図っていくことを目的とした協議会で、年に一度アートワークショップ等を開催 ⑦オリンピック・パラリンピック文化プログラム：東京2020大会の気運を醸成する文化イベントを実施 ⑧区民ミュージカル補助：子どもを中心としたミュージカルを行う団体への補助（平成29年度実施）							
経過	①芸術文化振興プラン：平成21年6月に策定、平成26年6月に改定、平成30年度改定予定 ②ディスカバーあらかわ：平成7年度より太平洋美術会の協力で実施。17年度から荒川区美術連盟の協力も得て一般公募形式で募集。平成19年度からは、絵画以外に版画・染織・彫刻の出品も可とした。 ③西日暮里ギャラリー：平成9年度に道路課が高架下の修景事業として設置。維持管理は道路公園課、運営は文化交流推進課。 ④太平洋展：平成9年度から、太平洋展にて荒川区長賞を授与している。 ⑤公共施設サイン：昭和62年度より設置事業を開始。現在サインの設置を休止し、荒川区公共サインガイドラインに沿って、整備及び修繕・清掃を実施。平成29年度より事務費へ組替 ⑥JOBANアートライン協議会：H18年協議会設立総会開催。H29年度10周年記念シンポジウム開催。 ⑦オリンピック・パラリンピック文化プログラム：平成29年度から気運醸成事業として実施。 ⑧区民ミュージカル補助：平成29年度に区制85周年記念事業として実施。							
必要性	芸術文化活動は、人間の内面に対する探求を行うものである。芸術を鑑賞したり、自ら芸術文化活動を行うことは、区民の生活をより豊かにすることを可能にするものである。こうした地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員） ①推進会議の開催。②一般公募したものを展示し、優秀な作品に賞を授与。③申請を受け内容を審査。 ④太平洋展の初日に授与。⑤清掃・修繕を委託。⑥負担金を支出。⑦委託にて実施。⑧団体補助							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	ディスカバーあらかわ区民応募率(%)	50.9	55.1	50.4	60	65	
	②	ディスカバーあらかわ応募点数	114	127	110	130	150	
③	旧地区案内板撤去率(%)	50.0	60.0	70	80	100.0	H29年度までに7基撤去。H30年度以降、順次整理を行う。	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
推進	推進	地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		4,846	6,926	5,013	3,909	4,540	9,409	10,326
決算額 (30年度は見込み)		4,532	6,349	4,688	3,637	4,207	7,792	10,326
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名 (30年度は見込み)								
西日暮里ギャラリー展示件数		20	23	20	21	27	29	30
ディスカバーあらかわ応募点数		125	104	103	114	127	110	130
サイン設置数		31	31	30	29	32	31	30
サイン清掃数		31	31	30	29	20	21	31
予算・決算の内訳								
平成28年度 (決算)			平成29年度 (決算)			平成30年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報酬	非常勤職員報酬	2,599	報酬	非常勤職員報酬	2,594	報酬	非常勤職員報酬	2,646
共済費	非常勤社会保険料	390	共済費	非常勤社会保険料	388	共済費	非常勤社会保険料	395
報償費	芸文プラン推進会議謝礼	79	需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代他	608	報償費	芸文プラン策定委員会謝礼等	709
旅費	近接地内旅費・特別旅費	73	役務費	サイン清掃費等	89	旅費	近接地内旅費・特別旅費	454
需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代外	477	委託料	文化プログラム	1,268	需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代外	1,402
委託料	サイン撤去跡歩道舗装	297	使用料等	ディスカバー付帯設備	156	委託料	サイン撤去、文化プログラム	4,279
使用料等	ディスカバー付帯設備、負担金	158	負担金等	区民ミュージカル補助金	2,498	使用料等	ディスカバー付帯設備等	189

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額		
行政費用	給与関係費	6,503	13,778	7,275	地方税	0	0	0	
	物件費	1,013	2,227	1,214	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	76	0	▲ 76	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	129	2,583	2,454	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	1,978	1,978	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	1,978	1,978	
	賞与・退職給与引当金繰入額	201	2,682	2,481	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 7,922	▲ 19,292	▲ 11,370	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	7,922	21,270	13,348	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 7,922	▲ 19,292	▲ 11,370	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 7,922	▲ 19,292	▲ 11,370		

備考

行政費用では、委託料として物件費、補助費等が多くかかっている。29年度は文化プログラム「ゆいアート展」の実施により物件費が増加し、区制85周年記念区民ミュージカルの実施により補助費等が増加した。

問題点・課題

- ①ディスカバーあらかわの応募点数について引き続き太平洋美術会、荒川区美術連盟と協力し、区民の応募が増えるよう周知を行う。
- ②公共施設サインについては、複合施設準備室が設置したサインと、既存のサインのデザインに統一性がとれていないため、検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	「ディスカバーあらかわ」の区民応募率、応募点数の増加に向けて、引き続き周知に力を入れていく。	関係団体を通じて、団体の会員への周知、区報、区営掲示板、HP、各施設でのチラシ配布等で周知を行った。	区民応募率、応募点数の増加に向けて、他部署のイベント等でのチラシ配布、複数回の告知など、引き続き周知に力を入れていく。
②	荒川区公共サインガイドラインに沿って、他部署と連携して引き続きサインの整備を行う。	荒川区公共サインガイドラインに沿って、旧デザインのサインの撤去等、整備を行った。	引き続き、荒川区公共サインガイドラインに沿って、他部署と連携して、区内サインの整備を行う。
③			

他区の実況	(実施 0 区)		未実施 0 区		不明 22 区)	
	議会議決要旨	平成25年1定	公共施設サインについて、統一のとれた計画によって整備する取組が必要	平成28年度決特	芸術文化振興基金の取り扱いについて	平成29年度11月会議

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-02	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	地域活動支援事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井			
		担当者名	藤田	内線	2521			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-03	地域活動支援事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 30年度 <input type="checkbox"/> 29年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成	19年度	根拠	荒川区地域活動支援事業補助金交付要綱				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅶ	計画推進のために					
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化					
	施策	01	区民参画・協働の推進					
目的	1 豊かで住みよい地域社会を築くため、区民や区民団体等の地域活動を支援し、区政参画の機会を拡大するとともに、区民や区内団体等との協働の促進を図る。 2 職を離れた団塊世代の方々が地域の活動や区政運営に積極的に参画し、地域の人的資源として活躍できるよう支援する。							
対象者等	区民団体、定年退職後の区民、地域活動に関心のある区民等							
内容	1 地域活動サロン「ふらっと.フラット」の運営補助 （運営）荒川区社会福祉協議会（場所）生涯学習センター1階 （開所日）月～金：13:00～19:00（第1・3水金は13:00～21:00 祝祭日を除く） （内容）・地域活動の拠点となるサロンの運営、情報提供、相談、コーディネート 2 コミュニティ活性化推進事業の支援 ・地域のコミュニティ活動が活性化するように、荒川区内の団体が区民を対象として行う事業に対し支援を行う。							
経過	平成19年度	地域活動サロン「ふらっと.フラット」開設						
	平成20年度	団塊世代活動支援コーナー開設						
	平成20年度	南千住図書館における団塊世代の図書特集の開催（1～3月）						
	平成21年度	関係機関連絡会の開催（2回）						
	平成21年度	区報「地域活動特集号」の発行						
	平成21年度	関係機関連絡会の開催						
	平成22年度	職員向け協働ガイドラインの検討						
	平成25年度	職員向け協働ガイドラインの策定						
	平成27年度	事業を文化交流推進課に移管						
	平成29年度	開設10周年記念事業として、ユニークアイ special「おとなたちの音楽と紙芝居」を実施、記念誌の作成						
必要性	多様化する区民ニーズに的確に応える区政運営のためには、区民の区政参画の機会拡大はもとより、区民や区内団体等との協働の促進が不可欠である。また、団塊世代を中心とした区民の地域活動の支援は、地域の活性化につながることから、その必要性は高い。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> ） （直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員） ふらっと.フラット：社会福祉協議会に対する運営費補助							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	ふらっと.フラットの利用者数(人)	2820	3973	4421	4500	5000	相談、講座、場所利用、情報収集等
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
推進	継続	関連する施策を一体的・総合的に実施し、より効果的に地域支援等を行い、協働を推進していく。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		7,996	7,246	6,663	6,507	6,422	6,740	6,574
決算額(30年度は見込み)		6,986	6,558	6,428	6,401	6,091	6,495	6,574
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	ふらっと・フラットの事業数(回数)	33	29	31	36	37	38	38
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	地域活動支援事業補助金	6,064	負担金補助等	地域活動支援事業補助金	6,329	報償費	協働研修費	52
償還金利子等	補助金返還額	27	償還金利子等	補助金返還額	166	負担金補助等	地域活動支援事業補助金	6,522

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	450	900	450	地方税	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	3,197	3,261	64	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	6,091	6,495	404	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,197	3,261	64	
	賞与・退職給与引当金繰入額	26	224	198	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,370	▲ 4,358	▲ 988	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	6,567	7,619	1,052	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,370	▲ 4,358	▲ 988	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,370	▲ 4,358	▲ 988		

備考

行政費用では、補助費等が多くかかっている。内訳は地域活動サロン「ふらっと・フラット」への運営補助である。

問題点・課題

・地域力を高め、地域活動の裾野を広げるために、ふらっと・フラットにより芽生えた地域活動の動きをさらに支援し、地域活動の担い手を増やしていく必要がある。
 ・より効果的に地域活動の支援等を行っていくため、他部署と連携し、適切な支援体制について検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ふらっと・フラットが幅広い層の区民や、団体の地域活動拠点となるように、情報提供を行う。	ふらっと・フラットがより幅広い層の区民や、団体の地域活動拠点となるように、地域活動支援に関する講座等の情報提供を行った。	引き続き、ふらっと・フラットが幅広い層の区民や、団体の地域活動拠点となるように、情報提供を行う。
②	関連部署と連携を図りながら、情報提供を行う。	関連部署と連携を図るため、月1回定例会を実施し、情報交換等を行った。	引き続き、関連部署と連携を図るため、月1回定例会を実施し、情報交換等を行う。
③			

他区の実況	(実施 10 区 未実施 12 区 不明 0 区)
	ふらっと・フラットに類似したコミュニティサロンを開設する区の数
議会(要旨)質問状	平成20年4定：団塊世代の参画の推進について 平成22年1定：シルバーパワーの活用について 平成22年2定：新しい公共について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-03	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	国内都市交流事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井			
		担当者名	池内	内線	2524			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-02-01	国内都市交流事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 30年度 <input type="checkbox"/> 29年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	56年度	根拠	荒川区自然体験を通じた青少年健全育成活動事業補助金交付要綱				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進					
目的	生活環境や地域文化の異なる地域の人々との交流を深めることにより、区民に豊かな自然とのふれあいの場を提供し、区民の心の豊かさと相互の都市の活性化を図る。平成17年11月に策定した「荒川区都市間交流に関する取り組み方針」に基づき、国内の都市との交流を積極的に推進することにより、荒川区の魅力と活力を高め、より豊かな区民生活の実現をめざす。							
対象者等	区民							
内容	H29年度の主な交流事業（★：荒川区でのイベント） ★川の手荒川まつり出展：26自治体 ★交流都市フェア出展：12自治体 ★表敬訪問：4自治体 ☆国内都市交流ツアー：3自治体 ☆交流都市のイベント参加（業者派遣）：3自治体 ☆交流都市のイベント参加（出演）：1団体 ○その他：4自治体							
	H30年度の主な交流事業（予定） ★川の手荒川まつり出展：27自治体 ★交流都市フェア出展：12自治体 ★表敬訪問：4自治体 ☆国内都市交流ツアー：3自治体 ☆交流都市のイベント参加（業者派遣）：3自治体 ☆交流都市のイベント参加（出演）：2団体 ○その他：4自治体							
経過	※H30.4.1時点で29都市、交流開始順に記載、（）内は提携・協定締結年度 秩父市（旧荒川村）：S56姉妹提携、H7防災協定・21再調印、北杜市（旧高根町）：S58、大多喜町：S60（H7友好都市提携・防災協定）、鴨川市：S62（H3友好都市提携・H7防災協定）、上越市（旧吉川町）：S62（H7防災協定）、福島市：H6（H28.2友好都市協定、H18防災協定）、桑折町：H6（H23防災協定）、石川町：H6（H8防災協定）、村上市（旧荒川町）：H8、釜石市：H9（H11防災協定）、射水市（旧下村）：H11（H26防災協定）、鯉川村：H15（H24防災協定）、三条市：H15、福井県：H16、潮来市：H16、つがる市：H16、二本松市（旧東和町）：H17、小野町：H17、つくば市：H18（H20.5友好都市提携、H24防災協定）、津南町：H19、大垣市：H19（H23防災協定）、米沢市：H20（産業連携協定締結）、広尾町：H21、成田市：H22、印西市：H22、南アルプス市：H24、佐渡市：H26、真室川町：H27、みなべ町：H27							
必要性	国内の都市との交流を積極的に推進し、荒川区の魅力と活力を高めることにより、より豊かな区民生活の実現が期待できる。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員） 国内都市交流ツアーの一部を委託							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値（38年度）
	①	国内交流都市ツアー参加者数	0	98	91	150	150	
	②	あらかわキャラバン派遣団体数	3	3	1	2	4	
③	日暮里駅前イベント広場・交流都市フェア開催数	3	3	3	2	4		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進	重点的に推進	生活環境や地域文化の異なる地域と交流することにより、まちの魅力と活力を高めていく。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		9,832	1,471	1,272	1,976	11,280	11,212	12,353
決算額(30年度は見込み)		9,741	1,194	1,155	1,612	7,695	6,613	12,353
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
交流都市数		26	26	28	29	29	29	29
交流都市ツアー応募者数						429	240	300
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	まつり・キャラバン出展謝礼	483	報償費	まつり・キャラバン出展謝礼	329	報償費	まつり・キャラバン出展謝礼	543
旅費	交流都市事業等出張旅費	227	旅費	交流都市事業等出張旅費	336	旅費	交流都市事業等出張旅費	561
需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	642	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	349	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	1,056
役務費	キャラバン派遣団体交通費	284	役務費	キャラバン派遣団体交通費	3	役務費	キャラバン派遣団体交通費	645
委託料	交流都市フェア会場設営等	5,035	委託料	交流都市フェア会場設営等	4,813	委託料	交流都市フェア会場設営等	7,448
使用料等	キャラバン派遣バス借上げ代	396	使用料等	キャラバン派遣バス借上げ代	149	使用料等	キャラバン派遣バス借上げ代等	770
負担金等	日暮里街づくり実行委員会補助金等	629	負担金等	日暮里街づくり実行委員会補助金等	634	負担金等	日暮里街づくり実行委員会補助金等	1,330

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額		
行政費用	給与関係費	5,856	11,066	5,210	地方税	0	0	0	
	物件費	6,578	5,647	▲931	国庫支出金	2,418	2,818	400	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,118	966	▲152	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,418	2,818	400	
	賞与・退職給与引当金繰入額	335	2,750	2,415	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲11,469	▲17,611	▲6,142	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	13,887	20,429	6,542	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲11,469	▲17,611	▲6,142	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲11,469	▲17,611	▲6,142		

備考 行政費用では委託費として、物件費に多くかかっている。主な内訳としては、交流都市フェア会場設営委託に3,812千円、国内交流都市ツアー委託に744千円かかっている。

問題点・課題 ①国内交流都市ツアーについては、訪問する都市のとの調整や、価格の設定等その都度検討を行う必要がある。
②区民にとって交流都市が身近になるよう交流事業の内容を検討するとともに、交流の状況を区民に広報していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	防災協定の結んでいる交流都市と事業が実施できるよう検討していく。	田植え・いも苗等の体験ツアーを実施した茨城県潮来市とは、防災課が関連部署と今後協力できないか検討している。	友好都市提携から10周年を迎える茨城県つくば市との周年事業を相互に開催し、つくば市との関係を強化する。
②	地元住民との交流や、交流都市職員による説明等、区主催のツアーならではの内容を盛り込めるよう努力する。	今年度実施した3都市の区民ツアー全てにおいて、交流都市の協力を得ることができた。	過去の価格設定と参加者の相関を参考に、適正かつ区民に魅力ある価格でのツアーの企画をしていく。
③	交流都市との連携事業について、周知・広報できるよう検討していく。	荒川ケーブルテレビが潮来市田植え・いも苗植え体験ツアーやつくば市での俳句ハイクに同行して、その模様を放送した。	他課と国内交流都市との交流の実績を把握し、より細やかな交流ができるよう努力する。

他区の実況	(実施)		未実施		不明	
	22	区	0	区	0	区
議会議決(要旨)	平成28年度9月会議 平成28年度決特		区民が農業・森林整備等の体験ができる交流事業について 自然体験事業の必要性について			

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-04	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	国際交流協会補助	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井			
		担当者名	安藤	内線	2524			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-03-01	国際交流協会補助						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 30年度 <input type="checkbox"/> 29年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成	5年度	根拠	荒川区国際交流協会補助金交付要綱				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等	設立趣意書				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進					
目的	区民の国際交流活動の拠点として、国際交流事業を推進し、外国都市との友好親善と区民の国際理解を深めながら荒川区の国際化を図り、荒川区を世界に開かれた夢のあるまちとすることを目的とする。（協会会則第3条）							
対象者等	荒川区国際交流協会 設立 平成5年10月21日 組織 理事15人、事務局8人（区職員兼務）、監事2人 会員 賛助会員（211名）、協力会員（359人） ※平成30年4月1日現在							
内容	≪荒川区国際交流協会の主な事業≫ ※（ ）内は開始年度 <input type="checkbox"/> 在住外国人支援事業 日本語教室（13年度：5～12年度では区事業）…年間132回（66回×2コース） <input type="checkbox"/> 国際理解・啓発事業 日本語サロン（10年度）…週1回×2コース、外国人おもてなし講座（27年度）、世界の料理教室（24年度）、広報宣伝活動…協会便り（年1回発行）事務局便り（月1回発行）、ライフサポートニュース（年1回発行） <input type="checkbox"/> 区民相互の交流事業 川の手荒川まつり出展、日本語スピーチ大会（7年度）、外国人のための防災講座、国際交流バスハイク（6年度）、茶道教室（13年度）、華道教室（23年度） <input type="checkbox"/> 世界の国々との交流事業 ウィーン市ドナウシュタット区との交流事業、外国からのインターン大学生受入（17年度）、日澳親善コンサート（26年度）、済州青少年国際フォーラムへの高校生派遣（26年度）							
経過	自主財源率（会費及び事業収入等）の推移 12年度までは総収入の15%程度、15年度以降は45%（補助金減、賛助会員や受益者負担の増による） 17年度は済州市、大連市中山区との友好都市提携に伴う、区補助金増のため38%となり、以後18年度41.8%、19年度37.2%、20年度32.7%、21年度36.7%、22年度37.6%、23年度31.7%、24年度37.7%、25年度は40.4%、26年度は36.7%、27年度は45.0%、28年度は43.94%である。							
必要性	交流都市との交流事業や在住外国人への支援、交流を推進し、区民の国際理解を深めるとともに、多文化共生の地域社会を実現するため、協会への支援は必要である。							
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員） 協会の派遣依頼により、地域文化スポーツ部長は事務局長、課長は事務局次長、都市交流係員は事務局員を兼職。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	協力会員・賛助会員数	733	699	524	530	670	個人+団体数 ※28年度中に協会員登録精査
	②	協会事業参加者数	4,022	4,569	4,500	4520	4,700	日本語教室等は延べ人数
③	通訳ボランティア養成講座数	3	2	2	2	4		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際交流の推進母体として重点的に支援することが必要である。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		6,147	6,147	6,147	6,147	6,636	6,636	6,636
決算額 (30年度は見込み)		4,636	4,005	5,727	4,532	4,925	4,274	6,636
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名 (30年度は見込み)								
協力会員 (人数)		584	581	501	525	536	336	350
賛助会員 (件数：団体+個人)		115	114	114	208	163	188	190
補助金の協会事業に占める割合 (%)		62.3	59.5	63.3	55.0	56.1	55.0	55.0
予算・決算の内訳								
平成28年度 (決算)			平成29年度 (決算)			平成30年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
負担金補助等	国際交流協会補助	4,925	負担金補助等	国際交流協会補助	4,274	負担金補助等	国際交流協会補助	6,636

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額		
行政費用	給与関係費	8,108	8,097	▲ 11	地方税	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	4,925	4,274	▲ 651	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	464	2,012	1,548	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 13,497	▲ 14,383	▲ 886	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0	
	行政費用合計 (b)	13,497	14,383	886	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 13,497	▲ 14,383	▲ 886	
特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0		
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 13,497	▲ 14,383	▲ 886		

備考

行政費用では、補助費等が多くかかっている。内訳は荒川区国際交流協会への補助である。

問題点・課題

・海外交流都市への高校生派遣事業等への参加申込者数を増やすため、中学3年生へチラシを配布するなど、事業PRを強化する必要がある。
 ・外国人住民の増加に伴い、日本語教室や日本語サロンへの参加者数が増加している。これらの教室・サロンの運営を支えるボランティアを増やし、教室・サロン間での情報共有や連携を深める必要がある。
 ・協力会員のうち、近年ボランティア活動から遠ざかっている会員がいるため、再活動に向けた働きかけを行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	事業の周知やボランティア活動に関する情報提供のため、ホームページやSNSを活用する。	海外交流都市への高校生派遣事業の参加者を増やすべく、チラシを作成し区内の中学3年生へ配布した。	国際交流協会設立25周年を機にPRを強化する。また、日唄修好150周年を翌年に控え、記念事業が行えるよう備える。
②	ボランティアミーティングの開催や既存ボランティアへの協会活動の呼びかけを継続するなど、活動のフォローを行う。	活動休止中の登録ボランティアへの呼びかけを行ったほか、年度末に、日本語ボランティアによるミーティングを開催した。	協会主催事業や事務局だよりなどでの周知により、日本語教室・サロンでのボランティアの確保を行う。
③			

他区の実況	(実施 8 区 未実施 14 区 不明 0 区)
	国際交流設置自治体※東京都国際交流委員会HPより
議会議況(要旨)	

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-05	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	海外都市交流事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井			
		担当者名	安藤	内線	2524			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-03-02	海外都市交流事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 30年度 <input type="checkbox"/> 29年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成	5年度	根拠	友好都市提携協定				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等	国際化推進員設置要綱				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進					
目的	海外都市に対する区民の関心を高めることにより、世界に開かれたまちとしての荒川区の魅力や活力を高めるとともに、産業交流等により区内の優れた技術や製品を広くアピールする。（荒川区都市間交流に関する取り組み指針[平成17年11月策定]）							
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ドナウシュタット区(オーストリア共和国ウィーン市)…平成8年10月21日提携(荒川公園に桜を植樹) ・済州市(韓国済州特別自治道)…平成18年2月17日提携 ・中山区(中国大連市)…平成18年3月10日提携 							
内容	<p>海外友好都市等との都市間交流、連絡、調整及び相互訪問等</p> <p><ドナウシュタット区> 高校生相互派遣（受入：6年度～、派遣：9年度～）（国際交流協会主管） ウィーン大学生の荒川区での研修受入、ドナウ会クリスマス会</p> <p><済州市> 区民ツアー、ドルブル祭への参加 済州島青少年国際フォーラムへの高校生派遣（国際交流協会主管） 済州市老人会の訪問受入（民間交流）</p> <p><中山区> 区民ツアー（国際交流協会主管） 産業交流（日暮里ファッションショー）</p>							
経過	<p>[ドナウシュタット区] 13年度 提携5周年記念荒川展(ドナウシュタット区)、ドナウ通り・広場(南千住) 18年度、23年度、28年度 区民ツアー(協会事業)</p> <p>20年度 両区訪問団相互訪問、26年度 ラルゴ・フットボールクラブ親善試合（民間交流）</p> <p>28年度 提携20周年記念 ウィーン荒川展（伝統工芸展）開催 東京荒川少年少女合唱隊のウィーンにおける演奏活動（民間交流）</p> <p>[済州市] 17年度 市制施行50周年記念式典に荒川区議会副議長他出席、両区・市長相互訪問 18年度、22年度、28年度区民ツアー(協会事業)※22年度はフラダンス団体派遣(民間交流) 19年度 市職員研修生受入(～24年度)、ドルブルへ代表団派遣(～22年度、24・26～29年度)</p> <p>23年度 友好交流5周年事業、28年度 友好交流10周年事業（少年サッカー親善試合等）</p> <p>[中山区] 17年度 両区長の相互訪問、9年・18年・22年度 区民ツアー(協会事業)、21年度 職員派遣 29年度 アカシア祭訪問</p>							
必要性	荒川区を世界に開かれたまちとして、産業・観光・芸術文化・スポーツなどの広範な分野にわたる交流を深めていく必要がある。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 1直営 <input type="checkbox"/> ） （直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員 ） 交流事業は荒川区国際交流協会が実施している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	訪問回数	6	11	4	3	10	荒川区⇒海外都市
	②	受入回数	12	7	11	4	7	海外都市⇒荒川区
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
重点的に推進	重点的に推進	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業であり、重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		9,847	10,417	12,552	13,459	40,741	14,225	14,502
決算額(30年度は見込み)		9,479	8,581	11,692	13,292	33,162	13,430	14,502
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
海外出張旅費支出人数		2	1	6	12	27	10	8
海外受入・訪問団体数		11	9	10	14	18	15	10
予算・決算の内訳		平成28年度(決算)		平成29年度(決算)		平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報酬	国際交流推進員報酬	10,120	報酬	国際交流推進員報酬	10,132	報酬	国際交流推進員報酬	9,912
共済費	国際交流推進員社会保障費	1,458	共催費	国際交流推進員社会保障費	1,502	共催費	国際交流推進員社会保障費	1,434
旅費	交流都市訪問等	5,300	旅費	交流都市訪問等	1,621	旅費	交流都市訪問等	2,299
需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	642	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	124	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	616
役務費	交流都市訪問時入出国税等	135	役務費	交流都市訪問時入出国税等	23	役務費	交流都市訪問時入出国税等	181
委託料	ウィーン荒川展委託	8,589	使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	29	使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	60
負担金等	民間団体等に対する国際交流補助金	6,671						

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		19,867	18,831	▲ 1,036		地方税		0	0	0
物件費		14,863	1,796	▲ 13,067	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		6,721	0	▲ 6,721	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		474	1,788	1,314	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 41,925	▲ 22,415	19,510		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		41,925	22,415	▲ 19,510	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 41,925	▲ 22,415	19,510		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 41,925	▲ 22,415	19,510		

備考 行政費用では、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、ウィーン市ドナウシュタット区への高校生派遣旅費に854千円かかっている。29年度は、28年度にウィーン市ドナウシュタット区との20周年事業、済州市との10周年事業を実施したことから、物件費及び補助費等が減少した。

問題点・課題 友好交流都市であるウィーン市ドナウシュタット区、済州市、大連市中山区との交流について、広く区民に交流意義及び交流実績をPRしながら継続的な交流しつつ、民間主体の交流が広がるよう団体等を支援していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	民間交流発展のため、必要に応じ民間交流補助(荒川区国際交流協会補助)の支援・周知を行う。	ゆいの森や区役所正面玄関で29年度の民間交流事業(東京荒川少年少女合唱隊のウィーン公演)について、展示しPRを行った。	区立中学校や区内関連事業等を通し、チラシや講座等を周知し、さらに海外交流都市との交流事業のPRを行う。
②	平成28年度中に実施した記念事業や、これまでの交流実績を広く区民にPRし、今後も継続的な交流を行う。	ゆいの森や区役所正面玄関ホール等で交流について、写真やパネル等を展示しPRを行った。	大連市中山区について、小学生の文化交流に主眼を置いた事業を実施する。
③			

他区の実況	(実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区)		
	姉妹・友好都市提携状況		
議会(要旨)質問状	平成28年度9月 済州市・大連市中山区との継続的な交流推進について	平成28年度11月 国際交流の現状と今後について(文化団体の交流事業)	平成28年度11月 国際交流の推進について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-06	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	彫刻の街づくり事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井			
		担当者名	南谷、藤田	内線	2521			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-04-01	彫刻の街づくり事業費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 30年度 <input type="checkbox"/> 29年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	60年度	根拠					
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	緑の多い広場、公園やゆったりとした歩道など、区民の多くが憩い、集う場所に彫刻を設置し、新しい景観、ゆとりと潤いの空間を区民に提供する魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。							
対象者等	区民及び区外からの訪問者							
内容	<p>(1) 彫刻作品の設置 生活にゆとりとやすらぎを創りだし、住み続けたい街、魅力ある街づくりの一環として彫刻を設置し、適切に管理するものである。 ＜設置場所の基本的な考え方＞ ①区民や区外の人が多く利用する場所（本庁舎前、主要駅、多数の区民の集う拠点施設、公園等） ②特定区民の利用する場所（学校、校外教育施設等） 設置場所、設置施設に適したシンボル性や親しみを感じられるものを設置してきた経緯がある。</p> <p>(2) 汐入タワーの管理【平成29年8月をもって事業終了】 平成23年度から都立汐入公園（南千住8丁目）内に設置されたインプログレス作品「汐入タワー」の管理およびタワーを活用した事業を展開してきた。平成29年8月をもって展示終了となり、管理を終了した。</p>							
経過	<p>(1) 彫刻作品の設置 ・「緑と彫刻の街づくり事業」として昭和60年度から公共の広場、公園、道路などに計139体（うち寄贈89体）を設置。（平成30年3月時点） ・平成15年から平成18年は新規の設置は行わず、清掃・メンテナンス及び修繕のみ行ってきた。 ・平成19年度以降は東京藝術大学との連携事業として卒業・修了作品の中から区長賞受賞作品を設置。 ・平成23年度彫刻マップをHP上に掲載。 ・平成29年度寄贈された極彩色木彫作品48体を区有施設に設置。 ・平成30年5月寄贈された「山吹の花一枝」像を日暮里駅前に設置。</p> <p>(2) 汐入タワーの管理 ・平成23年3月竣工。 ・平成29年8月1日にクロージングイベントを実施し、作品の展示を終了。</p>							
必要性	彫刻は、街にゆとりとうるおいを創出し、地域文化の向上と区のイメージアップを図るため設置してきた。「豊かさの実感できる社会」の創造が求められるなか、設置した彫刻が区民に親しまれるよう適切に管理していくことが重要である。							
実施方法	<p>（<input type="checkbox"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員）</p> <p>(1) 彫刻作品の設置：彫刻作品の清掃・メンテナンスを行い、作品を適切に管理。 (2) 汐入タワーの管理：平成26年度～29年度、区が維持管理。</p>							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	彫刻の修繕完了率(%)	100	100	100	100	100	修繕完了数（年度内）/修繕必要数
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
継続	継続	藝大との連携も含め新たな視点での彫刻設置を推進する。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		1,475	3,628	4,758	5,837	9,885	12,701	6,671
決算額(30年度は見込み)		1,397	3,342	4,342	4,051	2,857	11,412	6,671
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
彫刻の清掃メンテナンス(体)		62	51	51	62	53	54	55
彫刻の修繕数(体)		2	1	2	1	1	2	1
区内の彫刻数(体)		77	80	83	87	89	139	142
設置数		2	3	3	4	2	50	3
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	彫刻修繕、消耗品	305	需用費	彫刻修繕、消耗品	491	需用費	彫刻修繕、消耗品	310
委託料	彫刻清掃、汐入タワー管理	2,057	役務費	彫刻運搬費	112	委託料	彫刻清掃・撤去、説明版作成	3,665
負担金等	汐入タワーワークショップ	495	委託料	彫刻清掃、汐入タワー撤去	7,916	工事請負費	彫刻設置工事	832
			備品購入費	展示ケース	2,392	備品購入費	彫刻台座購入費	1,864
			負担金等	汐入タワークロージングイベント	500			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	3,333	4,228	895	地方税	0	0	0
	物件費	2,362	10,912	8,550	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	495	500	5	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	191	1,051	860	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 6,381	▲ 16,691	▲ 10,310
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	6,381	16,691	10,310	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 6,381	▲ 16,691	▲ 10,310
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 6,381	▲ 16,691	▲ 10,310	

備考 行政費用では、委託料、備品購入費として物件費が多くかかっている。主な内訳としては、汐入タワー撤去委託に6,939千円、彫刻作品用展示ケース購入に2,392千円程度がかかっている。29年度は、汐入タワーの撤去及びクロージングイベントを実施したため物件費が増加した。

問題点・課題 身近な芸術作品として区民に親しんでもらえるよう、彫刻マップの作成等、区内に設置している彫刻作品のPRの強化をする必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区内彫刻作品のPR方法を専門家と共に検討する。	荒川区ホームページでのPRを行っているほか、彫刻修繕及び清掃を実施し、安全管理を行っている。	区内彫刻作品への親しみをもってもらえるよう、引き続き、区報・HP等で周知を行う。
②	関係機関と調整の上、適切な時期、方法での汐入タワークロージングイベントを実施する。	平成29年8月にクロージングイベントを開催するとともに、作品の展示を終了した。	
③			
他区の実況	(実施 22 区)	未実施 0 区	不明 0 区)
議会(要旨)質問状	平成19年1定 彫刻のPR(彫刻マップ等の作成)について 平成27年度決特 汐入タワーの安全管理について		

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-07	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事					
事務事業名	音楽のまちづくり推進事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	谷井		
		担当者名	藤田		内線	2521		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-05-01	音楽のまちづくり推進事業費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	61年度	根拠	東京荒川少年少女合唱隊補助金交付要綱				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	音楽を中心とする地域文化の振興を図り、区の芸術文化の向上に寄与することを目的とする。区に本拠地を置く東京荒川少年少女合唱隊は、合唱活動を通じて荒川区のイメージアップと区民の文化的水準の向上、青少年の健全育成に大きく貢献していることから、区が補助金を交付し活動を支援することで、荒川区の文化振興を図る。							
対象者等	東京荒川少年少女合唱隊 代表：大村 光彦 指揮者：米谷 毅彦 団員数：28名（平成30年4月現在）							
内容	≪合唱隊への補助金の支出≫ 合唱隊の活動に要する経費で、合唱隊が計画及び予算を決定する事業について、区長が認めたものを補助対象事業とする。 ≪参考≫合唱隊の主な活動状況 平成29年度 ・定期演奏会、JR日暮里駅クリスマスイベント等、区内外のイベントで幅広く活動 ・「ゆいの森あらかわ」にて荒川区・ドナウシュタット区交流都市20周年記念演奏旅行の報告展示を実施 平成30年度（予定） ・定期演奏会、JR日暮里駅クリスマスイベント等、区内外のイベントで活動 ・交流都市である福島県釜石市主催の「市民合唱祭」へゲスト出演							
経過	昭和40年に創立され、区内外で幅広く活動している。 ≪合唱隊による演奏≫ ①区内での公演 平成15年度～18年度：区役所玄関ロビーにて年2回ミニコンサートを開催 平成17年度に、創立40周年記念のため記録ビデオ「こころで唄いあげた日々 東京荒川少年少女合唱隊40周年、そして未来へ」を作成。 平成22年度～：クリスマスツリー点灯式（ハッピートイズプロジェクトJR日暮里駅コンコース） ※このほか、荒川区新年祝賀会で合唱を披露している。 ②あらかわキャラバン事業による派遣 平成23年度釜石市、平成24年度秩父市、平成25年度北杜市へ派遣							
必要性	荒川区のイメージアップ、青少年の健全育成や音楽を中心とした地域の芸術文化活動の広がりをもたらすため、全国的に知名度の高い合唱隊の活動を今後も支援していく必要性がある。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 1直営 <input type="radio"/> ） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 補助金の支出については、補助要綱に基づき、事業内容を審査の上、補助金額を決定している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	定期演奏会来場者数(%)	80	61	75	80	85	会場の定員の9割を100とした場合の割合
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
継続	継続	合唱活動を通じた区のイメージアップと区民の文化的水準の向上、青少年の健全育成のため、支援を継続していく。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
決算額 (30年度は見込み)		1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
実績の推移	事項名 (30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	隊員数	34	35	30	33	28	28	30
	定期演奏会来場者数	756	800	950	362	818	815	800
	演奏回数	17	17	10	19	16	11	12
予算・決算の内訳								
平成28年度 (決算)			平成29年度 (決算)			平成30年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		180	180	0		地方税			0	0
物件費		0	0	0	国庫支出金			0	0	0	
維持補修費		0	0	0	都支出金			0	0	0	
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金			0	0	0	
補助費等		1,852	1,852	0	使用料及び手数料			0	0	0	
減価償却費		0	0	0	その他			0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)			0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額		10	45	35	行政収支差額(a)-(b)=(c)			▲ 2,042	▲ 2,077	▲ 35	
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)			0	0	0	
行政費用合計(b)		2,042	2,077	35	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 2,042	▲ 2,077	▲ 35	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)			0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 2,042	▲ 2,077	▲ 35	

備考

行政費用では、補助費等が多くかかっている。内訳は東京荒川少年少女合唱隊への補助である。

問題点・課題

- ①学校や地域などと連携した事業展開やメンバー募集を支援する必要がある。
 ②区の行事への参加など、活動の機会や場所について、情報提供を区から積極的に行い、あわせて団体の活動の広報についても支援を行っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区内外での演奏会等の活動について、支援を行った。	区内外での演奏会等の活動について、支援を行った。	引き続き、演奏会のほか、その他の活動について支援を行う。
②			
③			
他区の実況	(実施) 5 区	未実施) 0 区	不明) 17 区)
議会議事録(要旨)			

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-01-08		戦略プラン		●協働 ○業務 ○財務 ○人事		
事務事業名		東京藝術大学との連携事業		部課名		地域文化スポーツ部文化交流推進課		
				担当者名		藤田		
				課長名		谷井		
				内線		2521		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-06-01		東京藝術大学との連携事業費				
事務事業の種類		○新規事業（○30年度 ○29年度）		○建設事業		○それ以外の継続事業		
開始年度		○昭和 ●平成		21年度		根拠		
終期設定		○有 ●無		年度		法令等		
実施基準		○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分		●計画 ○非計画		
行政評価事業体系		分野		V 文化創造都市				
		政策		09 伝統文化の継承と都市間交流の推進				
		施策		01 芸術文化の振興				
目的		荒川区の隣接地に所在し、我が国の芸術文化の発展に大きな役割を果たしている国立大学法人東京藝術大学と、芸術・文化振興に係る事業はもとより、幅広く区行政全体にわたって相互の人材及び物的資源を最大限に生かした緊密な連携のもとに協力して事業を実施し、区における芸術文化の振興を図る。						
対象者等		東京藝術大学関係者、区民等						
内容		<p>(1) 東京藝術大学卒業生グループ「アプリユス」（以下「A+」）と協力し、次代の芸術文化活動の担い手となる子どもを育むためのワークショップ（以下、「W.S.」）や講座、公開制作など芸術教育事業の実施、区民の芸術文化活動の振興のため展覧会や制作講座などの企画実施を行い、芸術文化を介した交流の機会を提供する。</p> <p>(2) 19年度から、東京藝術大学卒業・修了予定者が制作する彫刻作品を対象に荒川区長賞を授与し、受賞作品を区内に設置している。（22年度より「緑と彫刻の街づくり事業」から本事業に組替）</p> <p>(3) 22年度・24年度・25年度・26年度・28年度にA+に委託して地域と協力し壁画制作を実施。</p> <p>(4) 文字や写真だけでは伝わらない荒川区の魅力を映像で内外に発信する「荒川区PR映像」の活用を図る。</p> <p>(5) プロによる演奏と専門家による教育を区内幼稚園の園児等に提供することにより、区の文化・芸術振興をはかる。</p>						
経過		<p>H20年度：「国立大学法人東京藝術大学・荒川区 芸術・文化振興のための連携に係る合意書」締結</p> <p>H21年度：水道局旧工業用水道事務所（以下、「旧水道局南千住施設」）をA+が使用（～H24.8）、W.S開催</p> <p>H22年度：常磐線第2三ノ輪ガード壁画制作（9～12月）、W.S（4講座）</p> <p>H23年度：W.S（6講座）</p> <p>H24年度：東日暮里第1・第2辻元ガード間壁画制作（6月～10月）、W.S（6講座）、</p> <p>H25年度：常磐線第3三河島ガード下壁画（南千住側）制作（10～1月）、W.S（10講座）</p> <p>H26年度：常磐線第3三河島ガード下壁画（東日暮里側）制作（10～1月）、W.S（6講座）、</p> <p>H27年度：旧水道局南千住施設を転貸借、W.S（8講座）、区PR映像作成、</p> <p>H28年度：常磐線日暮里7号線ガード下壁画制作（9月～10月）、W.S開催（9講座）</p> <p>H29年度：W.S（19講座）、コンサート2回</p> <p>H30年度：旧水道局南千住施設の転貸借終了（5月）、連携10周年事業、W.S（19講座）、コンサート2回</p>						
必要性		区民が身近なところで、質の高い芸術作品や芸術家に触れる機会を創出することは、区民の自主的な文化活動の促進につながるため、必要性が高い。						
実施方法		（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員 ） 東京藝術大学音楽学部や、A+（アプリユス）に委託して実施している。						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値（38年度）
	①	藝大と連携した参加型事業への参加者数	339	732	670	750		910
	②	区民との共同による壁画制作	4	5	5	6		9 壁画の制作数
	③	幼児期における芸術教育の推進	13	13	13	13	幼児を対象とした事業数	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進		重点的に推進		東京藝術大学との連携により、芸術家の活動を支援するとともに、区民に身近な場所で質の高い芸術作品・芸術家と接する機会を提供していく。				

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
予算額		9,602	8,492	7,179	27,860	30,100	30,009	28,405			
決算額 (30年度は見込み)		8,569	8,226	6,666	17,905	28,484	24,369	28,405			
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
事項名 (30年度は見込み)											
実施事業数		6	10	7	8	9	8	10			
藝大卒業修了制作作品数累計		12	14	16	18	20	22	24			
予算・決算の内訳		平成28年度 (決算)		平成29年度 (決算)		平成30年度 (予算)					
節	主な事項	金額 (千円)		節	主な事項	金額 (千円)		節	主な事項	金額 (千円)	
報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,432		報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,179		報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,101	
需用費	消耗品購入	74		需用費	消耗品購入	145		需用費	消耗品購入	225	
役務費	賞状筆耕	6		役務費	賞状筆耕	7		役務費	賞状筆耕	7	
委託料	ワークショップ委託	7,055		委託料	ワークショップ委託	4,179		委託料	ワークショップ委託	7,061	
使用料等	水道局旧工水事務所賃料	17,833		使用料等	水道局旧工水事務所賃料	17,548		使用料等	水道局旧工水事務所賃料	17,548	
工事請負費	卒業作品設置工事	783		工事請負費	卒業作品設置工事	311		工事請負費	卒業作品設置工事	1,463	
備品購入費	卒業作品展示ケース	300		備品購入費	卒業作品展示ケース	20					

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		3,604	4,948	1,344		地方税		0	0	0
物件費		25,269	22,190	▲ 3,079	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		2,432	2,179	▲ 253	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		17,548	17,548	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		17,548	17,548	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		206	1,229	1,023	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 14,746	▲ 12,998	1,748		
その他行政費用		783	0	▲ 783	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		32,294	30,546	▲ 1,748	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 14,746	▲ 12,998	1,748		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 14,746	▲ 12,998	1,748		

備考 行政費用では、使用料及び委託料として、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、水道局旧工水事務所賃料に17,548千円、路上タイル制作委託に1,954千円かかっている。29年度は、28年度に実施した映像作品の制作が完了したため、物件費が減少した。

問題点・課題 ①より多くの区民が、芸術文化に触れる機会を増やすために、様々な分野、場所での東京藝術大学と連携した事業を実施する必要がある。
②地域住民から愛され、景観を損なわない壁画を制作するため、デザインの決定や制作の過程に地域住民の参加を促す必要がある。
③今後、藝大との連携をさらに深めていくためには、既存事業の充実及び新規事業を実施する必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	東京藝大と、ゆいの森あらかわホールを活用した新たな音楽イベントを実施。	東京藝大と、ゆいの森あらかわホールを活用した新たな音楽イベントを実施。	東京藝術大学・荒川区 芸術・文化振興のための連携締結から10周年として、記念イベントを実施する。
②	壁画下に、山吹の花をデザインしたモザイクタイルを近隣小学校と協働して制作。	壁画下に、山吹の花をデザインしたモザイクタイルを近隣小学校と協働して制作。	文化プログラムとして、オリンピックパラリンピックの気運を高める壁画を制作予定。 ⇒文化振興事務費
③			

他区の実況	(実施 5 区 未実施 17 区 不明 0 区)
状況	・壁画の実施区の数
議会議事録(要旨)	平成27年度9月会議 南千住水道局跡地・東京藝術大学活動拠点での映像分野の取り組みの充実について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-09	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	俳句文化振興事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井			
		担当者名	高田	内線	2522			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-07-01	俳句文化振興事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 30年度 <input type="checkbox"/> 29年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成	27年度	根拠					
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	「荒川区俳句のまち宣言」に基づき、俳句のまちであることを区内外へ強く発信し、子どもから大人まで俳句文化の裾野を広げ、豊かな心を育むとともに、矢立初めの地千住を始めとした俳句に縁のある観光スポットを、区内外に向け広くPRすることで、誘客を促進し、地域の賑わいを創出する。							
対象者等	区民及び区外からの来訪者、俳句サミット加盟自治体等							
内容	<p>≪平成29年度の主な取組≫</p> <p>①俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会へ加入（区長が副会長に就任）</p> <p>②かぞ句会（子育て世代向け 託児あり）の実施</p> <p>③PRグッズの制作（てぬぐい）</p> <p>④あらかわ俳壇入選句等の都電内掲示</p> <p>⑤あらかわ吟行会の実施</p> <p>⑥中高生俳句バトルin開成への協力</p> <p>⑦5俳句団体への「俳句のまちあらかわ賞」提供</p> <p>⑧松山俳句ポストの管理（観光推進課から移管）</p> <p>⑨俳句のまちあらかわパンフレットの作成</p> <p>≪平成30年度の新規取組≫</p> <p>①俳句道場（宿泊型吟行句会）の実施</p> <p>②現代俳句協会青年部連携シンポジウムへの協力</p> <p>③第5回芝不器男俳句新人賞への協力</p>							
経過	<p>南千住は「奥の細道矢立初めの地」であり、ひぐらしの里（日暮里）も江戸の名所として知られ、多くの文人達が足跡を残した俳句にゆかりの地である。これまでも、子ども俳句相撲大会の開催や奥の細道サミットへの参加、むすびの地・大垣市との交流、区内小中学校における取組などを通じて俳句文化の振興を図ってきた。</p> <p>平成27年3月「荒川区俳句のまち宣言」に基づき、更なる俳句文化の振興を図る。</p> <p>平成27年3月14日 奥の細道千住あらかわサミットにて「荒川区俳句のまち宣言」を発表</p> <p>平成27年度：あらかわ俳壇、俳句宣言銘板・俳句タイルの制作・設置、PRグッズ、俳句手帳の作成</p> <p>平成28年度：英語俳句手帳の作成、俳句ハイク、俳句PR映像の制作、あらかわ俳壇、あらかわ句会</p> <p>平成29年度：俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会加入、中高生俳句バトルin開成、パンフレットあらかわ俳壇（年4回実施）</p>							
必要性	俳句にゆかりの地として、俳句文化の更なる振興を図り、豊かな俳句の心を育み、幸せと活気に満ちた魅力あふれる荒川区をめざすとともに、俳句による地域振興・観光振興等を図ることができる。							
実施方法	（一部委託）（直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	投句事業への投句数	855	1,290	1812	1900	2,000	
	②	俳句ポスト設置数	9	9	10	11	15	
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進		重点的に推進						
効果的な俳句振興につながるよう、事業の精査をおこなうとともに、多彩な事業を展開し、俳句文化の裾野を広げる。								

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		—	—	0	4,474	3,213	4,503	8,233
決算額 (30年度は見込み)		—	—	0	3,091	1,715	1,723	8,233
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名 (30年度は見込み)								
投句事業 (年間)					4	4	5	5
俳句ポストの設置					9	9	10	11
予算・決算の内訳								
平成28年度 (決算)			平成29年度 (決算)			平成30年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	講師謝礼	261	報償費	講師謝礼	188	報償費	講師謝礼	447
旅費	職員旅費	114	旅費	職員旅費	221	旅費	職員旅費	323
需用費	消耗品購入、印刷製本	1,118	需用費	消耗品購入、印刷製本	684	需用費	消耗品購入、印刷製本	1,471
役務費	俳句ハイク保険料	3	委託料	手拭製作委託	473	委託料	俳句ポスト作成	2,840
委託料	俳句シート作成	64	使用料等	俳句ハイクバス借り上げ	93	使用料等	俳句ハイクバス借り上げ等	251
使用料等	俳句ハイクバス借り上げ	156	負担金	俳句ユネスコ協議会	20	備品購入費	俳句銘板作成	2,700
						負担金	俳句ユネスコ協議会	20

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		5,856	8,367	2,511		地方税		0	0	0
物件費		1,452	1,514	62	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		264	208	▲ 56	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		335	2,079	1,744	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 7,907	▲ 12,168	▲ 4,261		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		7,907	12,168	4,261	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 7,907	▲ 12,168	▲ 4,261		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 7,907	▲ 12,168	▲ 4,261		

備考

行政費用では、需用費、委託料として物件費が多くなっている。主な内訳としては、PRグッズの作成に606千円、俳句のまちあらかわ手拭製作委託に410千円かかっている。

問題点・課題

- ①俳句文化の裾野を広げるため、投句数を増やしていく。
- ②幅広い世代の区民が参加できる事業を行う必要がある。
- ③「奥の細道330周年」に向けて検討する。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、幅広い区民が参加しやすい事業形態について検討する。	あらかわ俳壇のチラシ作成、俳句のまちあらかわパンフレットを作成し、俳句の取り組みに関する周知を積極的に行った。	引き続き、他事業や施設でのチラシ配布による周知を積極的に行う。
②	引き続き、中学生・高校生に向けた事業を実施し、子育て世代への事業拡大を検討する。	子育て世代対象「かぞ句会」、中学生向け「俳句ハイク」の実施、開成学園主催「中高生俳句バトルin開成」の協力を行った。	区内外の俳句団体と協力・連携を図り、幅広い世代に向けた多彩な事業を展開する。
③			

他区の実況	(実施 1 区 未実施 21 区 不明 0 区)
	ジュニア俳句祭
議会要旨(質問状)	平成27年度2月会議 俳句宣言後の取組について 平成28年度2月会議 「俳句のまちあらかわ」の推進について 平成29年度2月会議 ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組について 平成29年度6月会議 「俳句のまちあらかわ」の更なる推進について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-10		戦略プラン		<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事
事務事業名	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団補助		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井		
			担当者名	松井	内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-01	財団職員人件費						
	01-02-01	財団運営費（財団運営費）						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	63年度	根拠	地・自法232の2、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団に対する助成等に関する条例				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画		<input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	公共性と収益性のある芸術文化のための公益法人を育成することにより、事業の充実や新たな展開をはかり区民サービスを充実させる。あわせて、将来的に区財政の負担軽減を図る。							
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団							
内容	<p>本事業は芸術文化振興財団助成事業のうち、職員人件費及び財団運営に必要な運営費、理事会評議員会に関する経費、財務管理システム経費を補助するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度（4月1日現在） 常勤職員：事務局長1人（固有）、次長1人（固有）、管理係3人（派遣）、文化事業係4人（派遣） ＜派遣職員7人、固有常勤職員2人、固有非常勤職員7人、固有非常勤理事1名＞ 運営費：光熱水費、消耗品費、健康診断費、通信運搬費、複写機等賃借料等 理事会評議員会経費：理事会（13人）、評議員会（17人）開催に係る経費 財務管理システム経費：データ回線使用料、システム機器リース経費等 							
経過	<p>平成18年度：町屋文化センター（所管：社会教育課）及び荒川遊園（所管：公園緑地課）の指定管理者となる。地域振興公社の所管課は区民生活部文化交流推進課となる。</p> <p>平成20年度：荒川遊園事業部長を設置。</p> <p>平成21年度：理事長を常勤職員（固有）とし、管理係を1名増員。管理係に遊園安全担当係長を設置。</p> <p>平成22年度：事務局長を固有職員とする。管理係に人材派遣職員を1名採用。</p> <p>平成23年度：理事長と事務局長を兼務、管理係の人材派遣職員を1名減。荒川遊園の指定管理終了（区直営となったため）</p> <p>平成24年度：事務局長を配置し、理事長の兼務を解消。公益財団法人へ移行（4月1日）</p> <p>平成26年度：次長職を配置</p> <p>平成27年度：次長職は事務局長が兼務、文化事業係の派遣職員数を1名増</p> <p>平成29年度：次長職を配置</p>							
必要性	芸術文化事業の実施団体として、その活動を支援していく必要がある。 また、荒川区芸術文化振興財団の効率的な運営のため職員体制の確保は不可欠である。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 補助金の交付							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値（38年度）
	①	友の会会員数	406	609	678	780	800	
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
推進	推進	芸術文化振興の担い手としてのACCへの補助が必要である。ACCの効率的な運営のため、職員体制確保は不可欠である。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		13,786	49,257	49,728	49,556	53,094	60,260	60,127
決算額 (30年度は見込み)		12,007	47,807	43,764	48,449	46,978	53,481	60,127
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名 (30年度は見込み)								
派遣職員数		6	6	7	7	7	7	7
固有職員数		2	2	1	1	1	2	2
非常勤職員数		7	7	7	7	7	7	7
非常勤理事長				1	1	1	1	1
予算・決算の内訳								
平成28年度 (決算)			平成29年度 (決算)			平成30年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
負担金補助等	財団職員人件費	39,639	負担金補助等	財団職員人件費	47,475	負担金補助等	財団職員人件費	50,865
負担金補助等	財団運営費	7,340	負担金補助等	財団運営費	6,006	負担金補助等	財団運営費	9,262

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	180	180	0	地方税	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	46,978	53,481	6,503	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	10	45	35	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 47,168	▲ 53,706	▲ 6,538	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	47,168	53,706	6,538	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 47,168	▲ 53,706	▲ 6,538	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 47,168	▲ 53,706	▲ 6,538		

備考

行政費用では、給与関係費が少ない一方で、負担金補助及び交付金として補助費等が多くかかっている。主な内訳としては、財団人件費として47,475千円、財団運営費として6,006千円がかかっている。

問題点・課題

区と緊密に連携し、円滑な事業運営と柔軟性を発揮した事業展開が求められる。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	円滑に財団運営ができるよう、継続してコスト削減と事務の効率化に努める。	自主事業の開催に当たり、コスト削減に努めたほか、事務分担を見直し、事務の効率化を図った。	円滑に財団運営が出来るよう、継続してコスト削減と事務の効率化に努める。
②			
③			
他区の実況	(実施) 18 区	未実施) 0 区	不明) 4 区)
議会議決要旨			

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-11		戦略プラン		<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事			
事務事業名	芸術文化・地域振興事業（芸術文化振興財団費）		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井		
			担当者名	松井	内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-02-02	ほっとたうん発行（財団運営費）						
	01-02-03	芸術文化・地域振興事業費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63年度	根拠				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	サンパール荒川、日暮里サニーホール、ムーブ町屋などの区民ホールで、芸術文化事業を公演することにより、荒川区における芸術文化の振興と区民文化の活性化を図る。							
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（H24.4.1公益財団法人に移行し名称変更）							
内容	芸術文化振興財団事業のうち、芸術文化及び地域の振興にかかわる事業に対する補助である。 [定期事業] 荒川区民交響楽団・第九演奏会、小泉定弘写真展、都電写真コンテスト 等 [その他事業実績等] ・26年度 五木ひろしコンサート、人形浄瑠璃「文楽」（一般鑑賞、学校鑑賞）、あらかわ手づくり市等 ・27年度 ARAKAWAクラシックBOX、「夏休みはエンゲキ!」 舞台「おいしいのぼうけん」 等 ・28年度 ARAKAWAクラシックBOX、サンパール荒川リニューアルフェスタ 等 ・29年度 ARAKAWAクラシックBOX、山内恵介熱唱ライブ・春、夏休みはエンゲキ「ルドルフとイッパイアッテナ」 等 ・30年度 ACC30周年記念事業「ウィーン少年合唱団」 等							
経過	平成24年度：公益財団法人に移行し名称変更（H24.4.1）。 区民課にて施設使用料のみ負担（附帯設備はACCの負担）。 ARAKAWA1-1-1 ギャラリー開設（H24.6.1） 平成25年度：教育委員会との連携事業を実施。 （汐入小学校にて授業内で能楽体験・全中学生を対象に文楽の鑑賞会） 平成26年度：自主事業で子ども向け演劇ワークショップを実施 平成27年度：サンパール荒川改修工事のため1-1-1ギャラリーを休止したほか、例年サンパールで開催してきた「荒川第九演奏会」を南千住第二中学校で、「フレッシュ名曲コンサート」を日暮里サニーホールで実施した。 平成28年度：1-1-1ギャラリーの再開（相談業務は町屋文化センターの窓口で実施） ※H28決算より事務事業をほっとたうん発行と統合。							
必要性	荒川区芸術文化振興財団の最も重要な使命である芸術文化事業実施のための補助であり必要である。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> ） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 補助金の交付							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	チケット収入率（%）	26.8	37.3	42.6	45	45	自主事業収入額÷支出額
	②	芸術文化・地域振興事業数	51	68	58	64	65	
③	芸術文化・地域振興事業来場者数	35,121	52,342	42,241	55,000	55,000		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進	推進	設立30周年記念事業終了後も、引き続き、ACCの設立趣旨である「荒川区における芸術文化の振興を図り、地域社会の発展と区民生活の向上に資する」ため推進する。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		45,637	45,184	45,184	27,319	54,534	54,534	54,534
決算額(30年度は見込み)		27,995	29,501	24,591	18,101	39,445	35,764	54,534
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
チケット収入率(%)		46	33	39.5	26.8	37.3	42.6	35.6
参加・体験型事業件数		23	22	29	20	26	21	22
芸術文化・地域振興事業来場者数		52,108	52,697	52,925	35,121	52,342	42,241	43,235
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	ほっとたうん発行(財団運営費)	9,350	負担金補助等	ほっとたうん発行(財団運営費)	9,350	負担金補助等	ほっとたうん発行(財団運営費)	9,350
負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	30,095	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	26,414	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	45,184

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額		
行政費用	給与関係費	90	270	180	地方税	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	39,445	35,764	▲ 3,681	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	5	67	62	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 39,540	▲ 36,101	3,439	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	39,540	36,101	▲ 3,439	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 39,540	▲ 36,101	3,439	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 39,540	▲ 36,101	3,439		

備考

行政費用では、給与関係費が少ない一方で、負担金補助及び交付金として補助費等が多くかかっている。主な内訳としては、広報紙発行費として9,350千円、芸術文化・地域振興事業費として26,414千円かかっている。

問題点・課題

荒川区の芸術文化振興の中心的担い手として、区民や団体の活動支援、区の将来を担う子どもたちを中心とした人材育成に貢献する事業を推進する必要がある。また、サンパール荒川のリニューアルを受け、さらなる事業を充実させ、1-1-1ギャラリーの有効活用も検討していく。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	新たな参加型事業等、次世代を育成する取組を推進する。	子供向け演劇参加型事業について、運営方法を改善する等、次世代を育成する取組を推進した。	参加型事業の改善や指導者派遣の活用等により、次世代を育成する取組を推進する。
②	事業の改善・見直しを図り、区民ニーズに応え、芸術文化振興のための人材育成に資する事業展開に努める。	企画公募事業の募集内容の見直しにより、区民が求める企画の発掘に努めた。	事業の改善、見直しを図り、区民ニーズに応え、芸術文化振興のための人材育成に資する事業展開に努める。
③			

他区の実況	(実施)		未実施		不明	
	18	区	0	区	4	区)
議会議案要旨(要旨)	平成25年度予特 区民ミュージカル事業の推進について 平成25年度決特 事業内容の把握と価値ある事業について 平成26年度決特 「アーティストバンク」の拡充について					

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-12	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	区民会館費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井			
		担当者名	松井	内線	2523			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-01	区民会館管理運営費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	49年度	根拠	荒川区区民会館条例及び条例施行規則				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	荒川区民会館を広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
対象者等	区民及び一般市民							
内容	<p>名称 荒川区民会館（愛称 サンパール荒川〔昭和56年度区民公募〕）</p> <p>所在地 荒川区荒川1-1-1 電話 3806-6531</p> <p>開館時間 午前9時から午後10時まで（受付は午後8時まで）</p> <p>休館日 年末年始（12月29日から1月3日）</p> <p>構造・規模 SRC造 地下1階、地上6階 延床面積10,044.09㎡</p> <p>施設の概要 1F：大ホール（975席、1161.88㎡） 2F：レストランモア、ACCギャラリー 3F：小ホール（移動席300席、281.09㎡） 4F：第1集会室（洋室50名）、第2集会室（洋室50名）、第3集会室（洋室50名）、第4集会室（和室40名） 5F：第5集会室（洋室50名）、第6集会室（洋室50名）、第7集会室（洋室100名） 6F：荒川コミュニティカレッジ</p>							
経過	<p>昭和50年 3月28日 荒川区民会館オープン</p> <p>平成 2年 4月 1日 財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託</p> <p>平成 4年 4月 1日 改修工事のため休館（同年10月31日まで）</p> <p>平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入によりMKT共同事業体による管理開始。（平成21年度更新） 毎週月曜日の開館とともに、年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮。</p> <p>平成18年 7月 5日 レストランモアにレストラン運営の行政財産使用許可を開始。</p> <p>平成22年 8月 2日 結婚式場と控室を廃止し、社会教育課が荒川コミュニティカレッジとして使用開始。</p> <p>平成24年 4月 1日 指定管理者公募により、MKT共同事業体による管理開始。（平成27年度更新）</p> <p>平成24年 6月 1日 荒川区芸術文化振興財団の分室（ARAKAWA1-1-1ギャラリー）が開設。</p> <p>平成28年 4月 1日 平成27年度に1年間休館で実施した大規模改修が終了。リニューアルオープン。</p> <p>平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、(株)ケイミックスパブリックビジネスによる管理開始。</p>							
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。							
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 指定管理者：（株）ケイミックスパブリックビジネス 指定管理料：29決算171,779,600円、30予算159,404,000円							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	文化、芸能のイベント件数（件）	0	229	252	240	250	音楽、演劇、舞踊、映画等での催事数
	②	文化、芸能の利用人数（人）	0	97,540	87,483	122,000	122,000	上記①での利用人数
③							（※27年度は休館）	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
推進	推進	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための拠点として設けられた施設であり、優先度は高い。						

予算・決算額等の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
予算額	218,946	246,370	1,226,234	1,808,365	187,486	188,297	204,326	
決算額 (30年度は見込み)	218,607	245,604	1,187,982	1,735,745	169,252	168,414	204,326	
実績の推移	事項名 (30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
実績の推移	大ホール貸出稼働率 (%)	57.6	55.1	55.6	(休館)	55.5	62.6	57.9
	小ホール貸出稼働率 (%)	63.4	61.9	62.4	(休館)	56.4	55.3	58.0
	集会室貸出稼働率 (%)	42.7	43.2	40.5	(休館)	36.8	40.6	39.3

予算・決算の内訳								
平成28年度 (決算)			平成29年度 (決算)			平成30年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	実績評価委員会報酬外	60	報償費	実績評価委員会報酬外	740	報償費	実績評価委員会報酬外	68
需用費	実績評価委員会賄外	48	旅費	公募調査用旅費	0	需用費	実績評価委員会賄外	2
委託料	指定管理者委託料外	168,766	需用費	実績評価委員会賄外	0	委託料	指定管理者委託料外	201,839
備品購入費	指定管理者対応備品	378	委託料	指定管理者委託料外	167,329	使用料	AEDリース料外	68
			使用料	AEDリース料外	45	備品購入費	指定管理者対応備品	2,349
			備品購入費	指定管理者対応備品	300			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額		
行政費用	給与関係費	7,003	8,997	1,994	地方税	0	0	0	
	物件費	169,192	167,673	▲ 1,519	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	60	740	680	使用料及び手数料	4,378	4,382	4	
	減価償却費	15,930	15,930	0	その他	5,322	25,301	19,979	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9,700	29,683	19,983	
	賞与・退職給与引当金繰入額	630	2,235	1,605	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 183,115	▲ 165,892	17,223	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3,859	▲ 3,966	▲ 107	
	行政費用合計(b)	192,815	195,575	2,760	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 186,974	▲ 169,858	17,116	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 186,974	▲ 169,858	17,116		

備考 行政費用では、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、指定管理料として154,313千円かかっている。行政収入のその他が増加しているのは、指定管理期間満了による利用料金前受金の返還金を一旦収入としているものである。

- 問題点・課題
- 大規模改修後の施設運営
 - 稼働率の向上

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	問題の早期対応を目指すため、引き続き不具合状況報告の連絡体制を継続する。	不具合報告は月報で求め、各点検報告も写しを提出させた。緊急連絡網の充実で、問題発生時も早期対応が図られていた。	ハード面の強化は継続しつつ、ソフト面での対応力向上を目的に利用者意見の綿密な共有を目指す。
②	引き続き広報活動に力を入れるよう指定管理者へ要請する。	施設の認知度を高めるため、情報誌をリニューアルし、多くの方に手に取ってもらえるよう努めた。	新たな指定管理者が提案した稼働率向上策を協議の上、実施していく。
③			

他区の実況	(実施 22 区)		未実施 0 区		不明 0 区)	
	議会議決要旨	平成26年予特 平成27年度9月会議 平成28年決特	「ケータリングの導入検討について」 「荒川区民会館の長寿命化について」 「ケータリングの利用方法について」 「休業日の取扱いについて」			

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-13		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	日暮里サニーホール費		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	谷井	
			担当者名	勝		内線	2523	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-01	日暮里サニーホール管理運営費						
	01-01-02	日暮里サニーホール共用部分等修繕						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	元年度	根拠	日暮里サニーホール条例及び条例施行規則				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画		<input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	日暮里サニーホールを広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
対象者等	区民及び一般市民							
内容	<p>名称 日暮里サニーホール</p> <p>所在地 荒川区東日暮里5-50-5ホテルラングウッド4・5階 電話 3807-3211</p> <p>開館時間 午前9時から午後10時まで（受付は午後8時まで）</p> <p>休館日 年末年始（12月29日から1月3日）</p> <p>構造・規模 SRC造 地上13階、地下3階の内、4・5階部分 延床面積 2,311.28㎡</p> <p>施設の概要 多目的ホール 収容人員500名（フラット時）／面積404㎡ コンサートサロン 収容人員100名（フラット時）／面積113㎡ 会議室 第1会議室 収容人員24名（面積57㎡） 第2会議室 収容人員12名（面積25㎡） 第3会議室 収容人員12名（面積28㎡） ※第2,3会議室は通し使用可能</p>							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年 2月 9日 日暮里サニーホールオープン（財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託） ・平成15年 4月 1日 受付、舞台機構管理等の各業務の再委託を行い、大幅な経費の削減を図った。 ・平成16年11月30日 （財）中央労働福祉センター解散。（株）三菱UFJ信託銀行が区と覚書を取交し、財団の業務を引継ぐ。 ・平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入により（株）シービーシーメソッドによる管理開始。 年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮。 ・平成21年 4月 1日 指定管理者更新により、引続き（株）シービーシーメソッドによる管理開始。 ・平成24年 4月 1日 指定管理者の公募により、日暮里サニーホールさくらグループによる管理開始。 （平成27年度更新） ・平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、（株）コングレによる管理開始。 							
必要性	日暮里サニーホールを広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 指定管理者：（株）コングレ 指定管理料：29決算44,590,000円、30予算44,502,000円							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値（38年度）
	①	文化、芸能のイベント件数（件）	650	631	650	680	800	音楽、演劇、舞踊、映画等での催事数
	②	文化、芸能の利用人数（人）	66,078	63,005	70,790	72,000	80,000	上記①での利用人数
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
継続	継続	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための拠点として設けられた施設であり、優先度は高い。						

予算・決算額等の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
予算額	79,980	103,452	66,743	85,658	67,690	71,522	88,882	
決算額 (30年度は見込み)	73,851	97,876	60,288	77,061	59,671	61,955	88,882	
実績の推移	事項名 (30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
実績の推移	多目的ホール貸出稼働率	64.5	67.1	73.6	70.9	70.8	68.6	70.9
	コンサートサロン貸出稼働率	86.7	89.0	89.5	90.8	91.4	90.4	91.1
	会議室貸出稼働率	74.3	75.7	78.7	77.9	73.1	72.1	75.5

予算・決算の内訳								
平成28年度 (決算)			平成29年度 (決算)			平成30年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
委託料	指定管理者委託料等	44,317	需用費	災害用備蓄品	123	需用費	客席専用台車	199
使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券	18	委託料	指定管理者委託料等	42,589	委託料	指定管理者委託料等	76,079
備品購入費	客席、台車外	4,801	使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券外	29	使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券外	49
負担金補助等	ラングウッド 駐車場建物管理業務経費	5,131	備品購入費	客席、台車外	5,239	備品購入費	客席外	4,734
負担金補助等	ラングウッド 共用部分工事費	5,403	負担金補助等	ラングウッド 駐車場建物管理業務経費	5,568	負担金補助等	ラングウッド 駐車場建物管理業務経費	4,549
			負担金補助等	ラングウッド 共用部分工事費	6,559	負担金補助等	ラングウッド 共用部分工事費	3,272

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	6,566	4,948	▲ 1,618	地方税	0	0	0
	物件費	49,137	49,829	692	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	10,534	12,127	1,593	使用料及び手数料	38	38	0
	減価償却費	36,010	36,010	0	その他	8,079	27,137	19,058
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,117	27,175	19,058
	賞与・退職給与引当金繰入額	591	1,229	638	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 94,721	▲ 76,968	17,753
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	102,838	104,143	1,305	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 94,721	▲ 76,968	17,753
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 94,721	▲ 76,968	17,753	

備考

行政費用では、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、指定管理料として36,607千円がかかっている。行政収入のその他が増加しているのは、指定管理期間満了による利用料金前受金の返還金を一旦収入としているものである。

問題点・課題

- 稼働率の向上
- 施設の改修工事計画の策定

問題点・課題の改善策							
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容		平成29年度に実施した改善内容および評価		平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容		
①	アンケートや月次報告を通して、意見やクレーム等を集約し、利用者数とサービスの向上を図る。		運営状況を月報で確認し、指定管理者と協力して適切な対応を取りサービスの向上を図った。クレーム等で重大な報告はなかった。		日暮里サニーホールを広く周知し、稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取組みを指定管理者と協議し、対応していく。		
②	特定天井及びその他の工事について、内容を精査し、関係所管課と実施方法を検討する。		特定天井及びその他の工事について、関係部署と情報共有を図り、今後の方向性について話し合った。		関係部署や施設と調整し、計画的な修繕の実施を検討していく。		
③							
他区の実況	(実施) 22 区	未実施	0 区	不明	0 区)		
議会質問状(要旨)							

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-14	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	ムーブ町屋費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井			
		担当者名	勝	内線	2523			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-01	ムーブ町屋管理運営費						
	01-02-01	ムーブ町屋営繕費（計画工事等）						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	8年度	根拠	荒川区ムーブ町屋条例及び条例施行規則				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	ムーブ町屋を広く区民の利用に供するとともに、利用者に対するサービス向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
対象者等	区民及び一般市民							
内容	<p>名称 ムーブ町屋</p> <p>所在地 荒川区荒川7-50-9センターまちや3・4階 電話3819-7761</p> <p>開館時間 午前9時から午後10時（受付は午後8時）</p> <p>休館日 年末年始（12月29日から1月3日）</p> <p>構造・規模 SRC造 地上22階、地下2階の内、3・4階部分 延床面積2797.17㎡</p> <p>施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 多目的ホール 収容人員296席／面積230㎡（舞台、電動式椅子を収納した場合） ハイビジョンルーム 収容人員70席／面積 56㎡/スクリーン大きさ3.4m×1.9m ミニギャラリー 収容人員28名（椅子のみ使用時は40名）／面積70㎡ スタジオ 収容人員10名程度／面積51㎡ 企画展示コーナー オープンスペース／面積145㎡（4階全施設を使用する場合185㎡） その他 住民票・印鑑登録証明書自動交付機（平成8年6月開設） 							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 8年 6月 1日 ムーブ町屋オープン（財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託） ・平成15年 4月 1日 受付、舞台機構管理等の各業務の再委託を行い、大幅な経費の削減を図った。 ・平成17年10月 3日 JOBコーナー町屋開設。 ・平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入により（株）シー・エム・エムによる管理開始。 年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮。 ・平成21年 4月 1日 指定管理者更新により、引続き（株）シー・エム・エムによる管理開始。 ・平成24年 4月 1日 指定管理者の公募により、ムーブ町屋さくらグループによる管理開始。 就労支援課の執務スペースを設置。 ・平成25年 4月 1日 くつろぎ広場の一部をJOBコーナー町屋の若者向け相談スペースとして使用開始。 ・平成27年 4月 1日 指定管理者更新により、引続きムーブ町屋さくらグループによる管理開始。 ・平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、（株）コングレによる管理開始。 							
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、区内の中心部にある施設として、数多くの団体に利用されており、必要性は高い。							
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 指定管理者：（株）コングレ 指定管理料：29決算35,550,000円、30予算34,030,000円							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	文化、芸能のイベント件数（件）	519	597	600	630	700	音楽、演劇、舞踊、映画等での催事数
	②	文化、芸能の利用人数（人）	37,345	30,380	31,191	32,500	40,000	上記①での利用人数
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
継続	継続	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための拠点として設けられた施設であり、優先度は高い。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		102,326	72,251	165,932	95,339	76,354	111,002	125,950
決算額(30年度は見込み)		99,984	71,835	159,501	90,010	76,255	93,231	125,950
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
多目的ホール貸出稼働率		67.9	63.2	58.1	70.0	59.9	64.1	59.9
会議室A・B貸出稼働率		55.5	56.5	60.6	70.3	65.1	62.4	67.7
スタジオ貸出稼働率		71.4	68.5	68.6	62.2	70.4	77.5	66.3
ギャラリー貸出稼働率		43.0	52.3	56.7	52.9	54.3	52.9	53.6

予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
委託料	指定管理者委託料等	37,066	需用費	災害用備蓄品	123	需用費	ベルトパーテーション	195
備品購入費	指定管理者対応備品	500	委託料	指定管理者委託料等	37,430	委託料	指定管理者委託料等	49,610
負担金補助等	管理規約に基づく分担金	38,788	使用料等	AEDリース料	15	使用料等	AEDリース料	23
			工事請負費	計画工事等委託	11,635	備品購入費	指定管理者対応備品	500
			備品購入費	LEDライト外	2,621	負担金補助等	管理規約に基づく分担金	75,622
			負担金補助等	管理規約に基づく分担金	41,407			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額		
行政費用	給与関係費	6,128	4,948	▲ 1,180	地方税	0	0	0	
	物件費	37,576	40,188	2,612	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	11,635	11,635	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	38,679	41,407	2,728	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	91,001	91,001	0	その他	1,070	11,248	10,178	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,070	11,248	10,178	
	賞与・退職給与引当金繰入額	551	1,229	678	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 172,865	▲ 179,160	▲ 6,295	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	173,935	190,408	16,473	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 172,865	▲ 179,160	▲ 6,295	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 172,865	▲ 179,160	▲ 6,295		

備考 行政費用では、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、指定管理料として35,550千円がかかっている。行政収入のその他が増加しているのは、指定管理期間満了による利用料金前受金の返還金を一旦収入としているものである。

- 問題点・課題
- 稼働率の向上
 - 施設の改修工事計画の策定

問題点・課題の改善策			
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	アンケートや月次報告を通して意見やクレーム等を集約し、利用者数とサービスの向上を図る。	運営状況を月報で確認し、指定管理者と協力して適切な対応を取りサービスの向上を図った。クレーム等で重大な報告はなかった。	ムーブ町屋を広く周知し、稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取組みを指定管理者と協議し、対応していく。
②	センターまちや管理組合との連絡を密に行い、協力し合う体制を築き、適正な施設運営を図る。	空調工事の際、センターまちや管理組合と綿密に連絡を取り合い、スムーズな修繕工事の実施と施設の維持・管理向上に努めた。	関係部署や施設と調整し、計画的な修繕の実施を検討していく。
③			

他区の実況	(実施)		未実施		不明	
	22	区	0	区	0	区)
議会議事録(要旨)	議会議事録(要旨)					